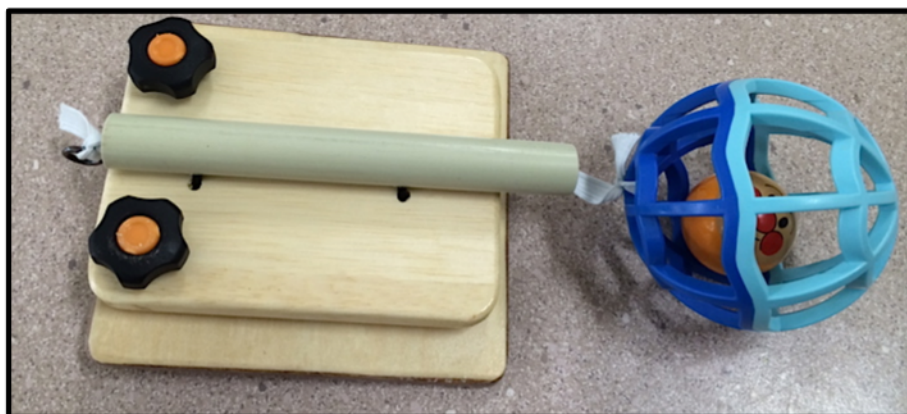


余暇にも、学習にも使える！ バックホーム ～ひとりでもできるもん～



テーブルに固定することで、道具や玩具を投げたり落としたりしても、すぐ目の前に戻ってきます！



肢体不自由児（者）の多くは、手にした物を不意の動作で落としてしまいやすく、道具や玩具を手元に置いて、好きな時に楽しむことがとても難しいものです。そのために、いつも座位保持装置上でただじっと座って余暇の時間を過ごすケースもあるかもしれません。「バックホーム」を取り付けておけば、好きな時に好きな物に親しむことができます。遊びが増える、遊びが変わる、それはきっと豊かさにつながる、そう願って作りました。工夫次第で学習活動にも使えると思います。是非御相談ください。



こんな活用もできるかも？



体験 レポート



始める前は眠っていましたが、セッティングが終わるとすぐに目はパッチリ。10分弱の活動中、一度もボールを放ることなく、終始ボールやゴムの感触を味わっていました。

色々な物を後ろに投げることが多く、このボールも3回ほど後ろに投げましたが、すぐに戻ってくることで、後ろに投げるのをやめ、前に落としては手元にたぐり寄せ、また前に落とすという連続動作に変化しました。